

## 1 テーマについて

みなさんは、朝顔を育てたことがありますか。今年は、1年生の担任をしており、朝顔を子ども達と共に育てました。種から芽が出て、双葉、そして、本葉をひろげ、茎を伸ばし、ネットに蔓をかけていきます。ここから、空を目指すように一気に成長を加速していきます。指数関数のように、その蔓の数、葉を増やしていきます。その日の朝と昼では、まったくその姿を変えているのです。さて、我々、人類は文字の記録を石碑、木簡、紀元前2世紀に発明された紙に頼ってきました。そして、今、その記録媒体に電子が加わろうとしています。もちろん、それに伴って、教育も大いに変換されるでしょう。私は、これから社会は、教育は、朝顔がちょうどネットに蔓をかけているところなのだと感じています。ICTを教育現場に取り入れることは急務です。本年度は、学級開きにおいて、ICTを取り入れました。実践について以下にまとめます。

## 2 学級開きにおける実践 ～学級開きを電子化しよう～

学級開きをする際に、行うことは多々あります。ここで行う作業がシステム化されていれば、楽なのにと感じています。3年目までは、この学級開きの準備に苦悩していましたし、校務分掌が増えてきた今でも、苦悩するところです。学級開きに考えなければならない、作らなければならない必要最小限のものとして、当番のメンバー表、当番表、給食当番の役割分担表、清掃分担表、朝の会、帰りの会の流れの表、があげられるでしょう。昨年使ったものを使えばよいのではないかと思うかもしれませんが、しかし、昨年と学年が異なったり、学級の人数が異なったり、年度中に転校があったりと学級経営は、毎年、年度中であっても変化する場合があります。もしも、名簿に児童の名前を1度、入れるだけで上の掲示物が一気に作れたらどうでしょう。これから、EXCELで作成した「学級経営ハジメールくん」の主な機能の紹介をします。

はじめに、名簿（図1）に、児童名を記入します。すると、機械的に当番のメンバー表が完成しました。（図2）図表の挿入を使えば、画像も入れられ、色を変えるのもとても簡単です。

1年1組		
番号	男子	女子
1	test1	test19
2	test2	test19
3	test3	test20
4	test4	test21
5	test5	test22
6	test6	test23
7	test7	test24
8	test8	test25
9	test9	test26
10	test10	test27
11	test11	test28
12	test12	test29
13	test13	test30
14	test14	test31
15	test15	test32
16	test16	test33
17	test17	test34
18		
19		
20		

図1 名簿

	A	B	C	D	E	F
1	test1	1 test4	1 test7	1 test10	1 test26	1 test14
2	test2	2 test20	2 test8	2 test11	2 test13	2 test15
3	test3	3 test6	3 test9	3 test27	3 test30	3 test33
4	test18	4 test21	4 test24	4 test28	4 test31	4 test34
5	test19	5 test22	5 test25	5 test29	5 test32	5 test5
6	test20	6	6	6	6	6

図2 当番メンバー表

当番メンバー表（図2）で、チーム名を入れると、当番表に反映されます。右上の変更のボタンを押すと1つずつずれていく仕組みになっています。（図3）EXCELのVBAを使って作成しました。

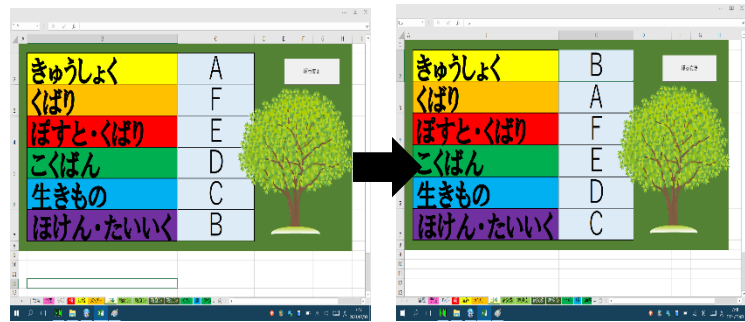


図3 当番表 変更後

当番表の機能を応用して、清掃分担表も作成しました。（図5）当番表同様にボタンを押すと1つずつ、変更することが可能です。

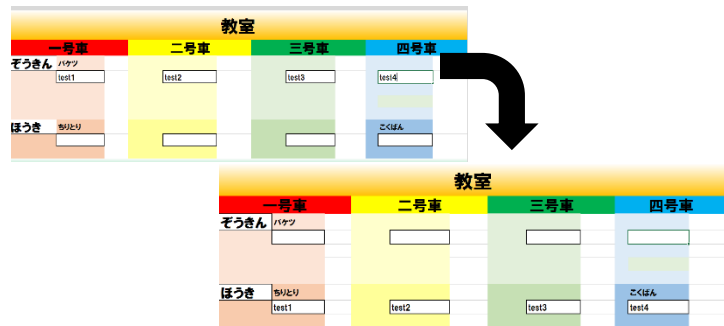


図4 清掃分担表

今回は紹介しませんが、上記の学級開きに必

要なものは揃えてあります。EXCELのハイパーリンク機能を使って、違う機能呼び出しを作ったり、Power pointの自動スライドショー機能を使って、清掃指導を行ったりもしました。

### 3 成果と課題

#### 【成果】

- 年度中の変更にも素早く対応ができました。
- 学級開きの作業がシステム化されて、迷うことがなくなりました。
- 違う教員にも使っていただいて、システムが日々向上しています。
- EXCELさえ開いておけば、児童でも操作ができました。

#### 【課題】

- 本質的なシステムの改良には、ある程度のEXCEL操作の知識が必要であり、エラーに対する処理が、全員できるわけではないことです。
- 操作の順序化がなされていないので、最初は説明が必要なことです。EXCELのメッセージ機能を使って、初期設定の順序化を図る予定です。

### 4 まとめ

我々は、コンピューターと共に生きることをどこかですっと望んでいたような気がします。ドラえもんなど、コンピューターとの共生をテーマについて描いた作品はたくさんあります。そこには、偏りのない、公平な知識があるように思えるからです。知識はコンピューターで補完できる時代がきました。そのような時代に、児童に教えられることは何なのでしょう。この時代を教員として生きていきながら、見つけなければならないことと感じています。